

大和証券グループ Presents

# 佐渡裕 指揮

Yutaka Sado & Tonkünstler-Orchester Japan Tour 2018

## トーンキュンストラ管弦楽団

レナード・バーンスタイン生誕100年記念



### ウィーンで愛される最強のコンビが再び凱旋

5月12日(土) 14:00 開演 (13:00 開場) 京都コンサートホール・大ホール

国内17年ぶり! 現代のカリスマ、  
アフアナシエフが弾く待望のブラームス2番!

バーンスタイン : キャンディード序曲  
ベートーヴェン : 交響曲 第6番 へ長調 Op.68 「田園」  
ブラームス : ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 Op.83  
(ピアノ: ヴァレリー・アフアナシエフ)

S席 18,000円 A席 14,500円 B席 11,000円 SS席 22,000円 (全席指定・税込)

5月19日(土) 17:00 開演 (16:00 開場) フェスティバルホール

最後の愛弟子、佐渡裕で聴く  
バーンスタインプログラム決定版!

バーンスタイン : 交響組曲「波止場」  
バーンスタイン : ウェスト・サイド・ストーリーより  
「シンフォニック・ダンス」  
ショスタコーヴィチ : 交響曲 第5番 二短調 Op.47

S席 18,000円 A席 15,000円 B席 12,000円  
C席 9,000円 SS席 22,000円 BOX席 22,000円 (全席指定・税込)

#### プレイガイド

- 京都コンサートホールチケットカウンター (京都公演のみ) 075-711-3231 (10:00~17:00 / 第1、3月曜休)
- ロームシアター京都チケットカウンター (京都公演のみ) 075-746-3201 (10:00~19:00)
- フェスティバルホールチケットセンター 06-6231-2221 (10:00~18:00) 窓口での取扱いは2/4(日)より(残席がある場合のみ)  
(大阪公演のみ) <http://www.festivalhall.jp/>
- イープラス <http://eplus.jp/> **イープラス 佐渡 検索**
- チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 102-770)
- ローソンチケット 0570-084-005 (Lコード: 51564)
- CNプレイガイド 0570-08-9999 (オペレーター対応 10:00~18:00)

#### お問い合わせ

キョードーインフォメーション 0570-200-888  
(10:00~18:00)

<大阪公演>主催: ABC キョードー大阪 協力: フェスティバルホール  
<京都公演>主催: キョードー大阪 共催: 京都コンサートホール (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) /  
京都市 / αステーション 協力: ABC  
特別協賛: 大和証券グループ 企画・制作: クリスタル・アーツ

一般発売:  
2月3日(土)

※未就学児の入場はご遠慮ください。  
※事情により出演者、  
曲目等が変更となる場合があります。

©Takashi Iijima

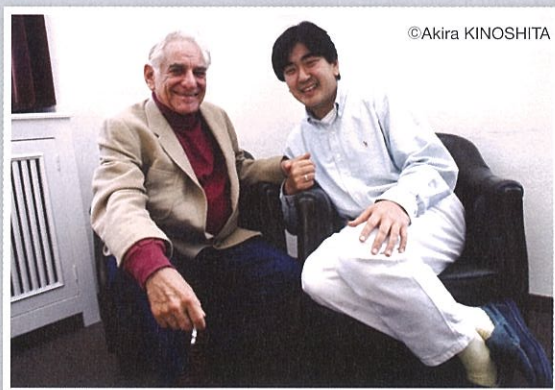
# 『完全燃焼で恩師バーンスタインに肉薄する佐渡裕』

音楽評論家 諸石幸生

佐渡裕は2015年にオーストリアの名門、トーンキエンストラ管弦楽団の音楽監督に就任した。以来、このオーケストラの演奏会は毎回大盛況とのこと。就任1年で任期を4年延長するという快挙も成し遂げ、同時に行われているレコーディングからも、佐渡とオケの極めて良好な関係が満喫されるものとなっている。

待望の第2回目の来日コンサートが、2018年の5月に行われる。しかも、2018年というのは、恩師バーンスタインの生誕100年という節目の年。佐渡裕はすでに録音を済ませたバーンスタイン作品を持って恩師へのトリビュートにするという。佐渡裕は完全燃焼の指揮で、これらの作品を最善最良の姿で堪能させてくれることであろう。ウィーンでの成功を間近に聴く本ツアー、期待感に心躍る。

「ウエスト・サイド・ストーリー」で世界を席卷した  
20世紀の巨匠レナード・バーンスタイン  
若き日の佐渡裕は、最後の愛弟子として  
晩年最も近くで教えを受けた  
師バーンスタイン生誕100年を祝い  
手兵と捧げる渾身の記念プログラム!



©Akira KINOSHITA

レナード・バーンスタイン (1918~1990:当時71歳) / 佐渡裕 (当時28歳)  
現在、佐渡裕とトーンキエンストラ管の本拠地であるウィーン楽友協会の楽屋にて。バーンスタイン逝去の8ヶ月前、1990年2月に撮影。

## 佐渡裕 (音楽監督/指揮)

Yutaka Sado

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。パリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルン WDR 交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2015年9月トーンキエンストラ管弦楽団音楽監督に就任。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務める。17年11月22日にトーンキエンストラ管弦楽団を指揮した5枚目のCD「バーンスタインへのトリビュート」を発売。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生~指揮者は時間を彫刻する~」(PHP文庫)等。http://yutaka-sado.meetsfan.jp

## トーンキエンストラ管弦楽団

Tonkünstler-Orchester Niederösterreich

トーンキエンストラ管弦楽団は110年の歴史を持ち、オーストリアおよびウィーンの音楽文化の中で最も重要な役割を果たしてきた。これまでにクナツパーツブツシュ、ファビオ・ルイーダ、クリスチャン・ヤルヴィらが首席指揮者を務めた。現在はニーダーエスターライヒ州のオーケストラとして、州都ザンクトベルテンの「祝祭劇場」、ウィーンの「楽友協会ホール」、ウィーン郊外の広大な敷地に野外音楽堂を有する「グラフェネッグ」を拠点とし、2007年設立の「グラフェネッグ国際音楽祭」においては毎夏レジデント・オーケストラを務めている。2016年の日本ツアーに続き、17年には佐渡裕と英国ツアーも成功させた。

https://www.tonkuenstler.at/en

## 『奇オアフナシエフの稀有なるブラームスは 聴き手の想像力を喚起する』

音楽評論 伊熊よし子



ヴァレリー・アフナシエフは奇オとか偉オと称される。意表を突くゆっくりとしたテンポ、ペダルで長く引き伸ばした音、音符と音符の絶妙な間など個性と創造性に満ちている。ブラームスのピアノ協奏曲第2番は13歳から弾き続け、「生涯弾いていきたい作品。常に一瞬一瞬が挑戦」と語る。日本国内では17年ぶりの演奏となる、まさに彼の十八番である。小説家、詩人でもあり、佐渡裕指揮トーンキエンストラ管弦楽団との初共演では、物語を描き出すような想像力を喚起する演奏を生み出すに違いない。

## ヴァレリー・アフナシエフ

Valery Afanassiev

1947年モスクワ生まれ。モスクワ音楽院でヤーコフ・ザークとエミール・ギレリスに師事。1968年バツハ国際音楽コンクール(ライプツィヒ)、1972年エリザベート王妃国際音楽コンクール(ブリュッセル)優勝。1983年ヴァイオリンのギドン・クレーメルの共演者として初来日。87年第3回《東京の夏》音楽祭ソロ・リサイタルで熱狂的な成功を収める。これまでに50枚以上のCDをリリース。2015年からはソニー・クラシカルで録音を開始し、最新盤は「テンペスト〜ブレイズ・ペーター・ヴェンII」。1992年「ブラームス:後期ピアノ作品集」(DENON)がレコード・アカデミー賞(器楽曲部門)受賞。独自の音楽性が音楽界に大きな刺激をもたらし、現代のカリスマ的ピアニストとして注目を集め続けている。